

富山河川国道事務所

記者発表資料

平成28年 7月13日 配布:県政記者クラブ

扱い:配布後解禁

魚津滑川バイパスの4車線化により 旅行速度が向上

平成28年2月28日に全線4車線化が完了した魚津滑川バイパスの交通状 況と主な整備効果をお知らせします。

【交通状況と主な整備効果】

【事業概要図】

全線4車線化により円滑な交通を確保

バイパスの全線4車線化により、<u>旅行速度*が25km/hから53km/hに向上</u>し ました。

※旅行速度:移動に要した時間で、信号待ちや交通渋滞による停止を含む速度

うおづなめりかわ 延長7.4km 魚津滑川バイパス 国道8号 終 魚津滑川バイパス 起 H25年度 H26年度 H22年度讫 滑川 回4車線化 4車線化済 4車線化済 4車線化済 市 延長2.3km 延長2.1km 延長1.4km 吉吉 滑川市 富山市 魚津市

※ 整備効果と事業概要の詳細は次頁以降に記載しています。

お問い合わせ先

あめたに

■ 調査第二課長 飴谷 卓也 TEL: 076-443-4717 (直涌)

FAX · 076-443-4718



国土交通省 北陸地方整備局

富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701(代)

〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/

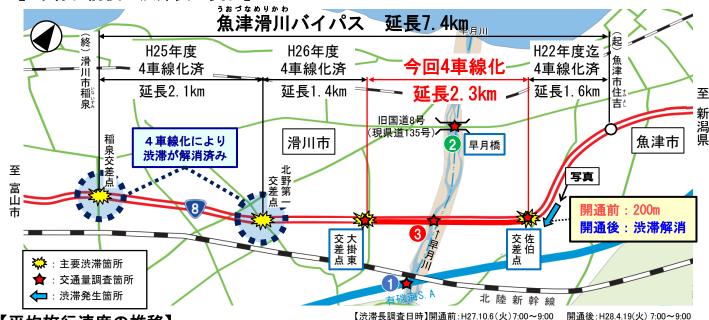


魚津滑川バイパス4車線化による効果

全線4車線化により円滑な交通を確保

- ・バイパスの全線4車線化により、富山方面に向かう通勤時間帯の旅行速度が25km/hから53km/hに向上しました。
- ・開通区間だけでなく前後区間の旅行速度も向上しており、年々増加する交通量に対して、円滑な交通を確保できるようになりました。

【4車線化前後の渋滞長の変化】



【平均旅行速度の推移】

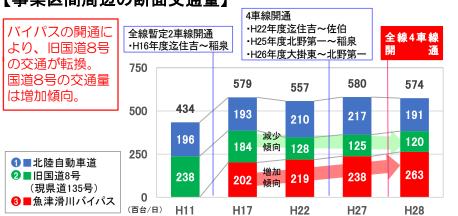
開通区間だけでなく、前後区間の速度も向上 (km/h) ■:開通後 70 51km/h 48km/h 60 45km/h 53km/h (+28km/h) (+6km/h) (+2km/h) (+5km/h) 50 40 **46**km/h 45km/h 40km/h 30 八津 市住 ・ 25km/h 20 10 ·回4車線化区間 0 間:魚津市住吉~滑川市稲泉(富山方面へ向かう車線)

※区 間:魚津市住吉~滑川市稲泉(富山方面へ向かう車線) 開通前:プローブデータ(H27.7~8月平日7時台平均旅行速度) 開通後:プローブデータ(H28.3月平日7時台平均旅行速度)

● 4車線化前の渋滞状況



【事業区間周辺の断面交通量】



● 4車線化後の渋滞状況



® 魚津滑川バイパスの事業概要

◆ 事業目的

◎ 幹線ネットワークの充実強化 ◎ 交通渋滞の緩和 ◎ 死傷事故の減少

◆ 事業概要

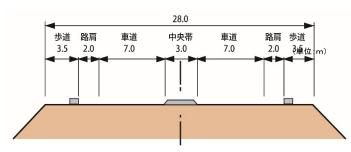
うおづ すみよし なめりかわ いないずみ

- 魚津滑川バイパスは、魚津市住吉~滑川市稲泉間の延長7.4kmのバイパスです。
- 一般国道8号は、北陸地方の主要都市を結ぶ主要幹線道路であり、その一部を構成する魚津滑川バイパスは、入 善黒部バイパス、滑川富山バイパスと共に、富山市と富山県東部とを結ぶ幹線ネットワークを形成するために重要な 役割を担っています。
- 当該事業区間では、朝夕の時間帯において交通混雑が発生し、速度低下に伴った死傷事故も発生しており、安全かつ快適な走行環境を確保する必要があります。

◆ 計画諸元

事業区間	魚津市住吉~滑川市稲泉		
延長	L=7.4km		
道路の区分	第3種1級		
設計速度	80km/h		
道路幅員	28.0m (3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5)		

◆ 標準断面図



◆ 事業の経緯

調査開始	昭和58年度	都市計画決定	平成元年度				
事 業 化	平成元年度	用 地 着 手	平成4年度	工事着手	平成5年度		
開通状況	平成15年度迄	或15年度迄 全線暫定2車線開通(魚津市住吉~滑川市稲泉) 延長 7.4km					
	平成22年度迄	完成4車線開通(魚津市住吉~魚津市佐伯) 延長 1.6km					
	平成25年度	完成4車線開通(滑川市北野~稲泉) 延長 2.1km					
	平成26年度	記成4車線開通(滑川市大掛~北野) 延長 1.4km					

